

令和2年度鹿児島県高等学校総合体育大会の中止について

鹿児島県高等学校体育連盟

会長 石田尾 行徳

令和2年度鹿児島県高等学校総合体育大会につきましては、全国的に未だ新型コロナウイルスの感染拡大に収束の糸口が見えない状況に鑑み、ウイルス感染防止及びケガ・熱中症防止の観点から、5月13日の鹿児島県高等学校体育連盟第2回常任理事会において、大会の開催を中止することに決定しました。

「高校総体」は高校生の目標であり、特に3年生にとっては、3年間の練習の成果を発表する舞台であるだけに、6月への期日変更や感染防止対策等の検討を進めるなど、開催に向けた準備を重ねてまいりましたが、感染リスクを完全に払拭できないことや、練習不足によるケガ及び熱中症発生リスクが伴う状況下においては、高校生や大会運営に携わる全ての方々を危険にさらすわけにはいかないなどの理由から、中止の判断となりました。

「高校総体は自己の可能性への挑戦の場であり、命を賭ける冒険の場ではない。」という観点から、中止と判断せざるを得なかったことに対しましては、これまで高校スポーツに携わってきた者として、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

これまで県高校総体を最後の大会に設定し、厳しい練習を続けてきた高校生の皆さんはもちろん、指導に当たられた先生・指導者の方々や子どもたちの活動を支えてこられた保護者の皆様方におかれましては、目指してきたものが突然なくなる喪失感にやりきれない思いを抱かれていることと拝察いたします。

無念さを乗り越え、新たなる目標を設定し、そこに向けて歩み出すのにはしばらく時間を要するかもしれませんが、みなさんがこの辛い経験を乗り越え、次なる目標に向かって前向きな気持ちで、今後の高校生活を送ってくれることを心から願っています。